

森林整備に関するアンケートの実施について

森林の役割

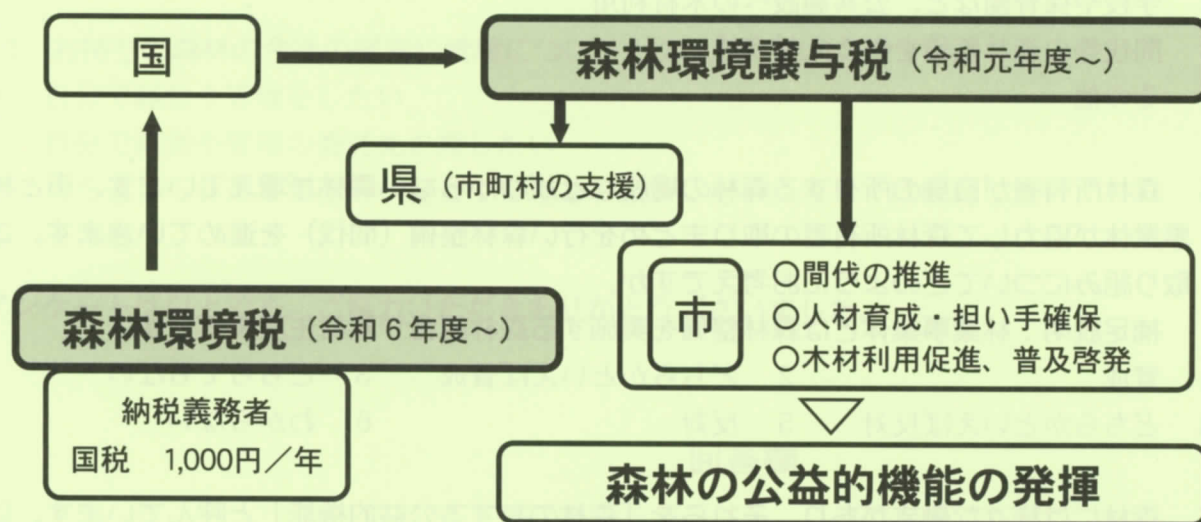
森林は木材の生産のみならず、国土の保全、水源の涵養^{かんよう}、地球温暖化の防止等、公益的な機能を有しており、国民が広く恩恵を受けています。この機能を持続的に発揮させるため、適切に整備・保全して健全な森林を維持することが必要となっています。

長野市の現状

長野市の森林の44%を占める人工林（スギ林、カラマツ林など約1万8千ha）は、植栽当初は40年から50年で木材として利用するため伐採・植林する計画でしたが、立木価格の低迷や、小規模零細かつ分散的な所有のため効率が悪く、伐採・植林するサイクルになりません。また、間引きを行う間伐が必要ですが、なかなか進まない状況です。

森林整備のための新たな課税制度について

間伐を中心とした森林整備を進めるための新しい国の制度として「森林環境税」および「森林環境譲与税」が創設されました。



市の取り組み

・令和元年度より森林環境譲与税を活用して、森林整備のための意向調査、間伐等の森林整備に対する補助、人材育成・担い手の確保のための補助、公共施設（図書館等）への木製品（椅子、机）の設置等を進めています。

・森林所有者が自身の所有する森林の場所などがわからない森林が増えている状況です。今後は市と林業事業者（森林組合や素材生産業者等）が協力して森林所有者の取りまとめを行い森林整備（間伐）を進めていきます。

回答方法

以下のいずれかの方法によりご回答ください。

- 1 回答欄に記入の上 郵送する。
- 2 回答欄に記入の上 FAXで送信する。(FAX 026-224-7812)
- 3 ホームページの回答欄から回答する。

(リンクURL : https://s-kantan.jp/city-nagano-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=13901)



問1 年代を教えてください。

- 1 10歳以下
- 2 10歳代
- 3 20歳代
- 4 30歳代
- 5 40歳代
- 6 50歳代
- 7 60歳代
- 8 70歳以上

問2 森林環境税、森林環境譲与税について知っていますか

- 1 両方知っている
- 2 森林環境税は知っている
- 3 森林環境譲与税は知っている
- 4 両方知らない

問3 市では森林環境譲与税を財源として森林整備をすすめてまいります、大切と思うものを選んでください。(複数回答可)

- 1 間伐等の森林整備
- 2 学校や保育園など、公共施設への木材利用
- 3 間伐等の森林整備を担う人材育成
- 4 その他

問4 森林所有者が自身の所有する森林の場所などがわからない森林が増えています。市と林業事業体が協力して森林所有者の取りまとめを行い森林整備(間伐)を進めていきます。この取り組みについてどのようにお考えですか。

補足説明：林業事業体とは森林整備を実施する森林組合や素材生産業者です。

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらでもない
- 4 どちらかといえば反対
- 5 反対
- 6 わからない

問5 森林には様々な働きがあり、それらを「森林の有する公益的機能」と呼んでいます。以下の森林の役割で期待するものを3つ選んでください。

- 1 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 2 二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化の防止に貢献する働き
- 3 水資源を蓄える働き
- 4 住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き
- 5 貴重な野生動植物の生息の場としての働き
- 6 自然に親しみ、森林と人とのかわわりを学ぶなど教育の場としての働き
- 7 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き
- 8 空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き
- 9 きのこと山菜などの林産物を生産する働き

問6 あなたは森林の所有者ですか

- 1 はい
- 2 いいえ (アンケートは終了です。)

問7 所有する森林の地区をお答えください。(複数ある場合は代表する地区を回答ください。)

- 1 第1、第2 2 篠ノ井 3 松代 4 若穂 5 七二会 6 信更
- 7 浅川 8 若槻 9 安茂里 10 小田切 11 芋井 12 豊野
- 13 戸隠 14 鬼無里 15 大岡 16 信州新町 17 中条

問8 所有する森林について、場所(所在)を知っていますか。あてはまるものを選んでください。

- 1 知っている(境界を把握している)
- 2 おおむね知っている(なんとなく場所がわかる。以前行ったことがある)
- 3 知らない(まったくわからない。行ったことがない)

問9 今後、森林を所有・管理していく上で、困っていることは何ですか。(複数回答可)

- 1 森林からの収入がない
- 2 森林の境界がわからない
- 3 自分は森林のことをわかっているが後継者が知らない
- 4 森林を引き継ぐ後継者がいない
- 5 その他

問10 お持ちの森林の今後の経営や管理についてどのようにお考えですか。

- 1 自分で経営や管理をしたい
- 2 自分で経営や管理の委託先を探したい
- 3 市を通して林業事業体等へ経営や管理をお願いしたい、若しくは検討したい
- 4 その他

※アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

回答欄

問1				問7		
問2				問8		
問3				問9		
その他				その他		
問4				問10		
問5				その他		
問6						

参 考

山林規模別の森林所有者数

総 数 16,851人	[1ha未満]	[1～3ha未満]	[3～10ha未満]	[10ha以上]
	10,867人 64%	3,868人 23%	1,841人 11%	275人 2%

1ha未満の小規模な森林所有者が半数以上を占めています。効率的に間伐するためには、**集約化(まとまって整備する)**が必要です。

[3～10ha未満]
1,841人
11%

[10ha以上]
275人
2%

間伐の必要性

間伐を行い立木の間隔が広がることで、以下の機能が発揮されます。

- ・根の発達が促進される → 立木の成育が良くなるとともに山地災害を防止する
- ・土壌に光が届くようになり草や低木が生えてくる → 土壌を保全する

お答えは今後の森林整備の参考にしてまいります。
森林をお持ちの方も、お持ちでない方も裏面のアンケートの回答にご協力をお願いします。**10月20日**までに回答ください。

長野市森林農地整備課
担当 宮原・西澤
電話026-224-5040

回答用はがき

切り取ってご投稿下さい

郵便はがき

380-8512
001

長野市大字鶴賀緑町一六一三番地

長野市
行

森林農地整備課担当

料金受取人払郵便
長野中央局
承 1370
差出有効期限
2023年8月
19日まで
(切手を貼らずに
ご投函ください)

